



本会議で市長や教育長に一般質問しました！

5月20日～6月5日の間、第2回定例会が開催されました。今定例会では主に補正予算や条例改正等が審議され、最終的に本会議で議決されました。柏原は本会議における一般質問で、市長や教育長に対して質問を行っています。録画映像その一部を裏面に掲載していますのでぜひご覧ください。録画映像は右のQRコードから視聴できます。

録画映像



公教育はもっと良くなるの？ 巨大組織の抜本改革を提言



維新会派に与えられた21分の質問時間の内、多くを教育に関する質問に割きました。いじめ隠ぺいや公判傍聴への教職員動員など問題の尽きない横浜市の教育行政は、市立学校が505校、児童生徒が26万人、教職員が2万人という日本一の規模です。公教育が変わる前に子どもたちが成長してしまっては元も子ありません。だからこそ、危機感があります。市長に対して、市長権限による積極関与を質したところ、以下のような答弁がありました。「組織のガバナンス強化と時代に合った教育環境が不可欠」「教育委員会が自浄作用を発揮した取組推進のために、教育長と方向性を共有して改革を後押しする」

豊かな公教育に向けて今後も提言を続けます。



PROFILE

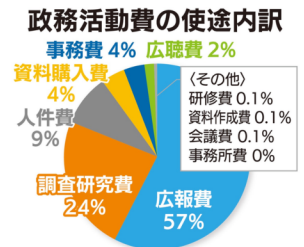
柏原 傑 (かしわばらすぐる)
1985年生まれ、広島出身、鶴見区寺谷在住妻と小学生2人、幼児の5人家族
公立小中高を経て、千葉大学工学部卒業
民間企業を経て、2023年より横浜市議員
脱炭素・GREEN×EXPO推進・みどり環境・資源循環委員会 / 郊外部再生・活性化特別委員会 委員

政務活動費とは？なぜ寄付するの？議員とお金を詳らかに



実は「政策活動費」と「政務活動費」は、別物です裏金問題で取り上げられた政策活動費は、政党から政治家個人に支出される政治資金の費目を言います。一方、政務活動費は自治体予算から支出され、地方議員の調査研究その他の活動に資するため必要経費の一部として交付されるものです。

今回は私が3月末までに交付を受けた政務活動費605万円(55万円×11カ月)の用途について経過報告します。支出総額は約590万円(残額は返金しました)。グラフに示す通り約8割を広報費、調査研究費に活用しました。例えば、タウンニュースへの計5回の掲載に約100万円を広報費として計上しています。適切かつ効果的になるよう不断の見直しを図ります。尚、7月末から全会派/議員分の収支報告書が閲覧可能です。



「公約のご報告」なぜ寄付するの？

社会課題が山積する中、時には不便や不利益を伴う変化や改革は避けられません。ゆえに、先頭に立つべき政治家、議員は改革への覚悟を率先して示すべきとの考えから、議員報酬削減の条例が成立するまで、議員報酬月額の手取り2割相当額12.8万円を寄付しています。そのため、昨年度の11か月分、約140万円を寄付いたしました。寄付先はHPに掲載しています。

一般質問ってそもそも何？ 伝えた要点を解説します。



横浜市会における一般質問は、議案以外の横浜市政に関わる一切を本会議において質問できる機会です。その機会は年に3回しかなく、会派を代表して行います。

質問を通じて伝えた要点の一部を以下ご報告します。

- ①「50年後の横浜市将来市政報告人口推計に基づく対応」→鶴見区のように人口増加する区がある一方で、半減する区もある。複数の行政区などのまとまりでその特性や課題を踏まえた戦略検討が不可欠。
- ②「横浜における地方分権、行政区の在り方」→地域のことは地域で決めるのが自治の基本。区の予算・権限強化を一層推進すべき。
- ③「教育行政の在り方」→学校健康診断の児童生徒への配慮状況に関する全校把握を。巨大組織の抜本改革の工程提示と分権型教育行政の総括を。予算編成権があり民意を得た市長の積極関与をそれぞれ求めました。
- ④「横浜の経済成長」→市内企業の賃上げによる若者の所得向上が重要。実態把握すべき。
- ⑤「持続可能な観光戦略」→観光インフラに必要な財源確保の課題に向き合うべき。
- ⑥「政治家の率先規範」→危機的な財政状況が見込まれる中、改革実行には政治家が範を示すことが重要。市長にも求む。

このように課題を市長や教育長に質す機会が一般質問です。質問や答弁の内容、詳しい解説をHPに掲載しています。

QRコードからご覧ください。→



ハマの子育てニュース

- ① 子育て応援アプリ **パマトコ** 7月1日リリース
- ② 出産費用助成金 最大9万円→10月申請スタート
- ③ 妊婦健診助成の5万円増額決定
- ④ 横浜市子ども・子育て基本条例が制定
- ⑤ 学童/放課後キッズクラブで休暇中の昼食提供開始
- ⑥ エコハマ第2弾が6月6日スタート！…エアコン/冷蔵庫/LED照明器具購入対象のポイント還元
- ⑦ 2025年4月以降の公園禁煙化（年度内に審査見込）



年に3回開催の区づくり推進 横浜市議員会議とは…？

区役所の責任職と市議員が集い、区の自主企画事業費や区の主要事業等に関して協議する場です。6月11日には今年度2回目が行われましたが、鶴見区役所の権限は限られ、重要課題を十分に議論・決定できないことが課題です。詳細はブログを参照ください。



2027年は鶴見区政100周年！ 未来に向けたアクションを。

図6-1 公民連携の構図



鶴見区マスタープランには、区民・事業者・行政の連携・協働による公民連携のまちづくりの進め方が示されています。その結節点にあたる議員の一人として、地域をエンパワーメントする取り組みを始動します。まちの課題や政策に応じてプロジェクト化して、チームで取り組む新たなチャレンジです。

今後の議会の予定は？

第3回定例会は9月から。主に令和5年度の決算の審査が行われます。閉会中は地域訪問や意見交換、調査研究、政策立案等を行い、議会や要望提案に備えます。



インターンシップの募集開始

調査研究や政策の立案、提言のほか、市民の意見把握などを経験したいという方はフォームよりお問い合わせください。学生を対象とします。



ご意見やご質問を随時受け付けております。公式LINEの「問い合わせ」よりお願いいたします。

